

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	麻生区第3グループ(白山・麻生)	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	麻生区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 白山こども文化センター ①年間延べ利用者数 28,801人 ②年間延べ利用団体数 1,297団体</p> <p>2 真福寺小学校わくわくプラザ ①登録者数 177人 ②年間延べ利用者数 8,541人</p> <p>1 麻生こども文化センター ①年間延べ利用者数 19,814人 ②年間延べ利用団体数 208団体</p> <p>2 麻生小学校わくわくプラザ ①登録者数 392人 ②年間延べ利用者数 15,714人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 79,441,841</p> <p>2 支出 人件費 68,409,115 事業費 4,856,907 事務費 7,647,654 その他 0 ----- 合計 80,913,676</p> <p>3 差引 -1,471,835</p>
サービス向上の取組	こども運営会議、保護者懇談会、近隣町会・自治会、利用団体等、日常の利用者や地域との良好な関係を保ちながら利用者ニーズを把握し、運営に反映させている。また、グループ単位の交流事業等を実施している。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
<p>(評価の理由) 事業計画、仕様書のとおり事業が実施されている。白山こども文化センターでは、防音設備のある音楽室を近隣の中学校等に積極的にPRするなど、広報を継続的に行っているなかで、中高生から成人まで幅広い年齢層のバンド活動の利用があり、ほぼ毎日使用され、利用団体数が増加している。また、こどもボランティアを組織し、行事等の企画・運営に関わり、自主的に活動できる場を設けている。地域の畑を借り野菜の栽培や鈴虫、蚕の飼育、天体観測などを実施し、自然や命の大切さを学べる機会の場を提供している。乳幼児親子対象として、白山保育園の協力を得て実施する「びよびよらんど」、職員が実施する「まころん」、乳幼児親子支援団体による子育て悩み相談「みどりのへや」を定期的実施するなど、乳幼児親子の交流や相談・支援等を積極的に実施している。これらの成果もあり、年間延べ利用者数は昨年度と比べ7.8%増加している。わくわくプラザにおいても適切に児童の受け入れが行われている。</p>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					

	(評価の理由)会計処理及び金銭管理について適切に行われている。一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品・備品の一括購入等の取組による経費削減を図っている。				
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	4	4
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	子ども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8	
	(評価の理由)毎月のたよりの発行やホームページでの周知など、施設・事業の周知のための広報を定期的に行っている。特にホームページは全面的にリニューアルを行い、各施設の行事等の情報が集約・整理され、また団体利用の部屋貸出予約状況が把握できるなど利便性が向上している。また、子ども会まつりで、無料工作ブースを設け、普段の活動内容を紹介するなど、積極的に施設のPR活動をグループ全体で実施している。日頃から利用者や保護者とのコミュニケーションが保たれ、特別な配慮を要する利用者への対応も適切であり、良好なサービスの提供が図られている。子ども文化センター運営協議会及びわくわくプラザ保護者懇談会を定期的に開催し、意見交換や情報提供を適切に行っている。白山子ども文化センターでは、普段、子ども文化センターの音楽室で練習している高校生やシニア世代のバンドや子ども文化センターの音楽クラブで練習している児童が王禅寺中央中学校で開催されるアートフェスティバルで発表を行ったり、また、プロの音楽家を招いたコンサートを実施するなど、音楽を中心とした地域交流が図られている。さらに、麻生子ども文化センターでは、子ども文化センターまつりで「地域の方が得意なことを発表できる祭り」として参加者を呼びかけ、百合丘高等学校の生徒によるダンス発表や地域のオーケストラグループが出演したり、乳幼児親子と麻生中学校の生徒の交流事業を新たに実施するなど、各子ども文化センターでは、学校、地域等と連携した特色ある事業が実施され、児童等利用者の地域交流・世代間交流を行う施設としての機能の向上が図られている。意見箱、アンケート、子ども運営会議などによって利用者及び地域のニーズを把握するとともに、意見は行事の実施や図書等の購入に生かされるなど、利用者ニーズを事業運営に反映させ、改善を行う取組が行われている。				
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		子ども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	4	8
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
	(評価の理由)子ども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正に職員が配置され、利用児童数や特別な支援を必要とする児童などの状況に応じて、適切に職員を加配しており、元小学校個別支援級教諭を巡回指導員として配置するなど円滑な事業運営が行われている。市主催の研修への参加のほか、法人全体、区、グループ、各施設単位で体系的に研修計画を作成しており、それらの研修実施の成果を事業運営に生かしている。個人情報保護マニュアルと管理体制が整備されており、個人情報の取扱いが適正に行われている。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	4	4
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
	(評価の理由)施設整備の保守点検や必要な補修工事が実施されており、備品の管理も適切に行われている。経費削減による剰余金を児童用図書等の備品購入や施設の整備・修繕による環境整備に充て、利用者に還元している。日常的な安全点検の実施や救命講習の受講など、安全・衛生管理に適切に取り組んでいる。また、安全管理に関する研修、事故を未然に防ぐため事例検討会、熱中症予防のための熱中症暑さ指数確認など、利用者の安全確保に積極的に取り組んでいる。災害発生時に備え、対応マニュアル等が整備されており、適切に消防訓練等が実施されている。また、「白山子どもパトロール隊」を結成し、学区内のパトロール、危険箇所等の確認及び安全マップの作成を行い、また、警察の防犯指導を受けるなど、地域、警察等と連携を図っている。				

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

長年にわたって蓄積された市民活動への援助等の経験や指定管理期間以前から子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かすとともに、区8館合同事業「麻生キッズフェスティバル」の開催、多種多様な職員研修の実施、及び経費削減への取組等を行いながら、事業の推進、サービスの提供が図られている。
また、経費削減による剰余金を積極的に活用して、備品の購入や施設の整備・改善に充て、利用者に還元し、サービスを向上させている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、子ども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフのスキルの向上を図るとともに、利用者にとって各施設がより地域に根付いた居心地の良い場所になることを期待する。